

第1回 大学教育再生加速プログラム（入試改革）勉強会（AP 勉強会）議事録

日時：平成27年6月29日（月） 14：30～16：30

場所：岡山大学津島キャンパス 大学会館1F 第三会議室

出席者：(学外者) International School of Amsterdam 日本語教員，
広島インターナショナルスクール 理事長

(学内者) 田原センター長，田中教授，飯塚教授，タジ・カルメン准教授，中谷教授，
上田 均教授，UAA 石井一郎，森岡准教授，鄭准教授，
和田事務補佐員

欠席者：佐竹特任教授，上田准教授

< 議題 >

1. グローバル・ディスカバリー・プログラム（GDP）入試制度および教育内容について

初めに，中谷教授から配布資料を基に次の通り説明があった。

- ・ 新規のプログラムであるが，本学のマッピング・プログラム（MP）コースを参考に設置準備を進めており，基本的な発想や組立て方はMPコースを継承している。
- ・ 現行のMPコースも英語での授業はあるが，それと異なる点は英語での受講可能な科目を大幅に増やすことである。したがって，留学生も対象となる。
- ・ IB入試では，Japanese Aの履修者を対象としているが，GDPではその制限がなくなる。日本人でも外国人でも一定レベルの英語力がある学生が対象となる。さらに，日本語を学びたい学生は日本語による講義も受講できる。
- ・ 海外の高校生対象の入試は，平成29年10月入学から，国内の高校生については平成30年度4月入学からの開始となる。
- ・ 現行のMPコース同様，目的に応じた学部・学科での卒業研究が可能である。それに加えて，GDPの中に独自の専門領域を新設予定である。
- ・ 新設予定の科目群は，「地球の持続可能性に資する超学際科学」，「ソーシャル・イノベーションと社会的企業」，「コミュニティ創成と文化プロジェクト」であり，これらの講義を英語で行う。
- ・ 英語で学びたいと考えている日本人学生にとっては，留学することなく英語で多くの科目を受講することができ，留学生にとっては，日本人学生と一緒に受講することで日本文化や日本語に触れることができる。
- ・ 入学時は日本語力が乏しくても，本学で勉強している中である程度の日本語力がつけば，日本語での専門分野の授業（例えば，薬学や保健学）も受講できるようになる。
- ・ 多様なバックグラウンドを持った学生を対象としており，入学定員数は，海外での中等教育修了者（留学生・IB校出身者など）30名および，国内高校出身者30名の計60名を検討している。
- ・ フィールドワークやインターンシップなどは岡山ならではの科目を考えている。
- ・ 夏季から留学傾向の調査，個別に高校訪問を行い，そこで得た情報や意見を反映しながらプログラムを完成させていく予定である。

次に，鄭准教授から，次の通り説明があった。

IBの学習者像である「思いやりのある人」やIBの理念にある「共感する心」は，

日本の受験において数値化しにくいのが、社会で生きていく上で重要である。このプログラムでは、IBの学習者像をさらに発展させ、日本の学生と共有できるようにしたいと考えている。

2. 質疑応答および意見交換

以下のような質疑応答および意見交換を行った。

- このプログラムではどのような奨学金があるのか？
 - 学生支援チームを立ち上げ、奨学金制度を設ける予定だが、内容については検討中である。

- 生徒たちは大学を選ぶ際にその大学を出たらどこへ就職できるのかを考えるため、そのような情報があると良い。

- 4年間で海外との交流プログラムがあるかどうかもわかると良い。また、海外経験が十分にある生徒もいるので、それが必須なのか選択なのか。留学中の単位もカウントされるのかなどが明記されると良い。
 - 現段階では、フィールドワークとインターンシップおよび海外留学がセットになっており、その中で選択必修となっている。

- インターンシップとは具体的にどのようなものか？
 - 検討中であるが、就職先として考えるのではなく、インターンシップでその職場がどのようなものかを体験できるものとして位置づけたいと考えている。企業と関わる期間は2、3ヶ月あり、実際に行くのは週1日にする等を考えている。行く先は企業だけでなく地域事業等も検討している。

- IB生の日本語と英語の能力は個人差があるとは思いますが、大体どれくらいか？
 - 読み書きも含めて日本語能力は十分にある。英語については様々だが、**English B (HL)**を履修している生徒は十分大学での英語での授業を問題なく受講できる。

- IBから大学への要望として、**English A/B**を履修している生徒は**TOEFL**の成績提出を免除してほしいと明記してあるが、ほとんどの大学は提出が必要となっている。

- 日本人だが**Japanese A**を履修できない生徒もいたか？
 - いた。その子は**Japanese B (HL)**を履修した。日常会話は問題ないが、日本の国語だと中学レベル程度であった。

- 日本人で**Japanese B**を履修していた場合、日本語については他の留学生と同様のレベルを取ってもらうという扱いでいいか？
 - そのような場合は、岡山大学独自の試験で日本語力を測ったほうが良い。

- 岡山大学のホームページを英語で閲覧できるようにしてほしい。